

めざします。企業の繁栄と社会への貢献

# ほうじん

2014  
No.683

## 特集「法人会の婚活支援Ⅱ」

福島県連が県から支援事業を受託  
盛り上がる単位会の企業間交流

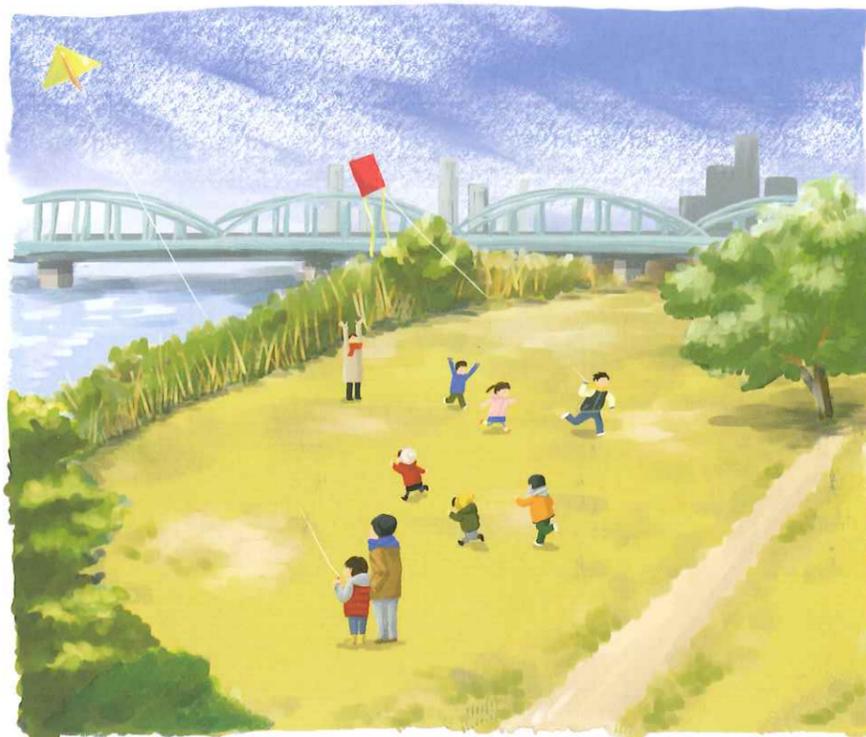
- ▶ 全国青年の集い広島大会開催
- ▶ 租税教育最優秀賞は松戸法人会
- ▶ 26年度税制改正で各党に改正要望
- ▶ ビッグハートで3市町に600万円寄付



法人会  
消費税期限内納付  
推進運動

ほうじん 新年号（第六十五巻新年号）  
©禁無断転載

平成二十六年一月一日発行（季刊一、四、七、十一月の一日発行）  
第六十五巻 新年号（通巻第六八三号）



# たこ(凧)の歌

■愛されてきた幼き頃の歌（歌の歳時記）

【たこのうた】

冬空に風を受けて  
舞い上がります。

♪たこたこ上がれ 風よく受けて  
雲まで上がれ 天まで上がれ  
絵だこに字だこ どちらも負けず  
雲まで上がれ 天まで上がれ…♪

上空に風が吹き始めると、川の土手や空き地は、風を上げる子供たちでいっぱいになります。奴凧、角凧、トンビ凧をはじめ武者絵や宝船、七福神を描いたもの、字を書いたもの、とさまざまに凧が上がります。

少しづつ糸を伸ばしていくと凧は風に乗り、空に舞い上がっていきます。ほとんどの子供は自分で作った凧を上げますが、親にねだってやつと買ってもらった高価な飛行機凧を上げた子供は、どこか誇らしげでした。他の子供の凧と絡まって落下し、泣き出す子までいて、広場は子供らの歓声であふれました。

大空を自由に飛ぶ凧の姿を、自分の子の未来になぞらえるのは親の正直な気持ちでしょう。今では空き地も少なくなり、凧を上げることが難しくなってきましたが、親子で凧上げをする習慣をお正月の遊びとしてぜひ残したいものです。

空高くぐんぐん上がる凧のように、事業の発展に努める経営者を（法人会の経営者大型総合保障制度）が力強く支えます。

法人会の経営者大型総合保障制度

広げよう  
企業保障の  
大きな傘を

法人会の経営者大型総合保障制度は昭和46年に  
発足し、会員のみならずとともに歩んでまいりました。  
これからも会員のみならずをお守りしてまいります。

DAIDO 大同生命保険株式会社  
<http://www.daido-life.co.jp/>  
0120-789-501（通話料無料）

AIU 保険  
Member of AIG  
<http://www.aiu.co.jp/>  
0120-321-564（通話料無料）





# 世界遺産で育林活動

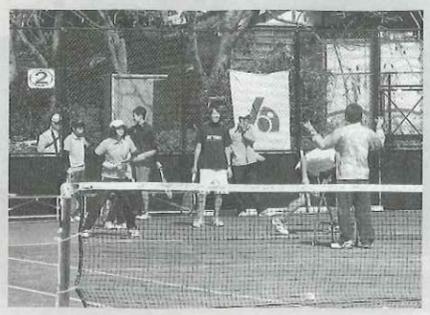
【東村山】世界遺産に登録された富士山の山麓、御殿場の森で、東村山法人会（東京）東久留米ブロックは9月8、9日の2日間、一泊研修会を行い、環境への取り組みを考える育林作業を実施した。

会員43人が参加し、1日目の8日午後にはミズナラ、カエデの苗木を植樹するボランティア活動を行い、最後に「(公社)東村山法人会東久留米ブロック」の木製手造り看板を建てた。その後、キリンビール富士御殿場蒸留所を、翌日は富士山5合目を見学した。

森を再生する治山活動と、地球温暖化対策としての環境問題を深く考える研修旅行だった。



## 高校生の硬式テニス教室



【天草】天草法人会（熊本）中央天草支部は10月27日、天草市本渡町広瀬の広瀬公園テニスコートで、旧本渡市（合併して天草市に）の高校生約40人を対象にテニス教室を開催した。

天草島内の中学校はソフトテニス部しかなく、ほとんどの生徒たちは、高校に入ってから硬式テニスを始める。このため、経験者から学ぶ機会がなく、ほぼ全員がテニス歴2年未満。

今回のテニス教室は初の開催で、基礎・基本の練習をメインに元ルネサンス熊本の吉村コーチや天草市テニス協会の3人に指導してもらった。練習方法や試合での心構えなどについても指導があり、全員が熱心に受講した。



## 絵はがきモザイクアート 駅コンコースに展示

【愛知県連】愛知県女連協は地下鉄・JR・名鉄の金山総合駅（名古屋市中区熱田区・中区）のコンコース（1日の利用客40万人超）に「くらしを支える税」を題材にしたモザイクアートの展示を行った。期間は11月5～18日の2週間。

原画は、絵はがきコンクールに応募した新城市立東郷西小学校6年、福岡沙弥子さんの作品B1ポスター2枚の大きさ（タテ118センチ、ヨコ113.5センチ）の2セットを制作。原画を10ピースに分割し、1ピースずつを県内20の女性部会に配り、それぞれ児童がちぎり絵で作成した。

## 小学生が税務調査を体験



【東法連】「税を考える週間」の行事として、小学生が11月11日、東京都江東区の子ども向け職業体験パーク「キッズニア東京」で、税務署の仕事体験をした。

背中に「TAX OFFICE」と書かれたジャンパーを着た子どもたちが、スタッフから税務署員としての心構えを聞き、税金の仕組みを学習した後、キッズニア内の土産物店やファーストフード店に向き、帳簿と申告書を見て、納めた消費税に間違いがないかを調べた。

## 筆まつりでフリー&クイズ

【広島安芸】全国の筆の生産量の80%を占める安芸郡熊野町で開かれた「筆まつり」の会場で、秋分の日（9月23日）、広島安芸法人会（広島）青年部会は税の啓発運動として「ぜいきんスタンプラリー&クイズ」を実施した。



筆まつりは熊野町特産品の熊野筆をPRする祭りとして、今年で79回目。多くの観光客が訪れた。スタンプラリーの参加者は会場内の工房、伝統、コミュニティの3つのゾーンに設置されたコーナーを巡り、クイズの正解と思うところにスタンプを押し、ゴールをめざした。

小学生と保護者、中学生など約1500人が完走。答え合わせの結果、鉛筆などのセットをプレゼントされた。

## マナーキッズテニス教室

【小千谷】小千谷法人会（新潟）小千谷地区会は9月6日、社会貢献事業として、小千谷市立小千谷小学校で、4年生164人を対象にテニスをしながらマナーを学ぶ「マナーキッズ教室」を、NPO法人マナーキッズプロジェクトの協力を得て開催した。

小笠原流礼法の鈴木万亀子総師範から、正しい挨拶の仕方や、人として



のマナーとして約束を守ること、他人からされる嫌なことをしないことなどの教えを受けた。

テニス教室では法人会メンバーやテニス指導員16人とテニスをしながら、正しい挨拶の仕方を実践した。

また、鈴木総師範から、保護者向けに「家庭内の躾」についての講演があり、子供の叱り方や誉め方、小さい頃から子供には我慢をさせることが大切などの話があった。

## 秩父はんじょう博で 税の紙しばい

【秩父】秩父市田村の秩父ミュージアムパークで10月19日に開かれた秩父商工会議所主催の「秩父はんじょう博」に秩父法人会（埼玉）青年部会も参加し、租税教育事業として、「税の紙芝居・税金クイズ」を開催した。

当日は午前9時から準備を始め、紙芝居は午前10時から5回上演。観客の子供たち約100人は、青年部会役員が熱演する紙芝居を楽しそうに見ていた。

税金クイズは子供と大人用の2種類作成し、紙芝居の後にチャレンジした。さらに紙芝居の合間にも、来場者に税



税金クイズを配布して、約230人が挑戦。参加者からは「勉強になった」「税金への理解が深まった」との感想が出ていた。

## 講師養成研修会で 模擬租税教室を実演

【鹿児島】鹿児島法人会（鹿児島）青年部会は、10月24日、鹿児島市荒田のサンエールかごしまで開催された県租税教育推進協議会の租税教室講師養成研修会に参加し、模擬租税教室を実演した。

脇田武彦前部会長が講師を務め、独自に作成した資料やオリジナルDVDなどを使い、学習指導要領に準じた授業を行うための心構え、児童に解りやすく伝えるための発声と言葉づかい、ビデオやクイズをとり入れた構成などについて講義した。研修会には県下の租税教室に関わる学校教師、税理士、税務職員、県・市町村職員など187人が参加し、メモを取るなど熱心に話を聞いていた。

同部会は、小学校で開催する租税教室の実地での工夫（直接行動）と資料や教材DVDを作成し、鹿児島市内の全小学校に配布するなど、租税教室の裾野を広げるための活動（間接支援）を行っている。